

006 うさお

花粉によるくしゃみが止まらない。けれど、杉花粉が過ぎた今は、
 檜花粉だ。これは咳に来る。咳が出始めると息が出来ない。このまま
 死んじゃうんじゃないかくらい頭ががががする。これじゃあ、3歩
 で忘れる鶏頭と、何も考えられない頭痛で、もはや廃人同然である。
 (元からだぞって意見もあるが・・・)

咳だって、ワンオクターブ高いキンキンした咳で恥ずかしいのなん
 のって。小脳梗塞になっちゃう！だから今回はずいぶん手抜きだよ！



作品名	作家名	感想	評価
朝倉恭介 Cの福音 完結編	楡周平	朝倉恭介は悪人である。彼のコカイン・コネクションが発覚！恭介を追い詰める警察・CIA・川瀬雅彦…再び火を吹くSMG・イングラム！闇に生きるものは闇に消える—それが掟だ。日米間に、コンピュータ・ネットワークを駆使したコカイン密輸の完璧なシステムを作り上げ、闇の世界にしなやかに生きた孤高の男・朝倉恭介—悪の天才に、ついに最後の時が訪れた。	☆☆☆☆ 結構面白い。比較的短時間で読める。何冊か借りたにもつたいないから、最期までとっときたいやつである。
北斎あやし絵帖	森雅裕	葛飾北斎は洋琴(ピアノ)を作りたいという芝居の道具師・あざみに出会うが、北斎が収集した図譜、画帖の中にあつたその資料が、何者かに盗まれてしまう。北斎とあざみは危機を救ってくれた千葉周作を仲間に加え、盗まれた資料を追ううち、かつての老中・田沼意次が将軍・家治を暗殺し、その事件に絡んで、東洲斎写楽が抹殺されたらしいことを知る。	☆☆☆☆ モーツアルトは憂鬱にだったかが、結構面白かった。その作者のものだから、期待したが、まあそこそこかな。
タクシー	森村誠一	蛭間正は何度となく霊に助けられたような経験がある、靈感が強いタクシードライバー。ある夜、何者かに追われ、胸を刺された女性・香月雅代を助けるが、彼女はまもなく息を引き取った。だが、死に際に彼女から佐賀県に連れていって欲しいと懇願され、蛭間は遺体を乗せて佐賀まで向かうことになる。	☆☆☆☆ タクシーに幽霊は憑き物であるが、靈感のある運転手は初めての設定。ただし、文体が古いなあ。
殺したのは私 (わたし)	メアリ・H. ク ラーク	何不自由ない生活を送るモリーは、ある日突然夫殺しの罪で起訴された。誰が見ても犯人は彼女しかあり得ない状況。しかも彼女には、その時の記憶がまったく無い。本当に自分は人を殺したのか？5年半の服役を終え、やっと我が家に戻った彼女は真相解明を決意する。そして再び彼女を襲う悪夢…。新たな死体が。	☆☆☆☆ この手のものはカトリーヌアルレーに始まるだろうか？犯人は思ったとおりの人物だった。ふふん！
冬の狙撃手 上	鳴海章	羽田空港で離陸直後のジャンボ機が墜落した。山中で訓練中だった公安特殊銃隊の石本と木谷は急遽呼び戻された。この事故には「子守唄」と呼ばれるテロリストがかかわっているという。	☆☆☆☆ ゼロが面白かった作者は、離婚後とたん面白くなるのだが、ようやく復帰してきたようで、面白くなり始めました。
冬の狙撃手 下	鳴海章	公安の石本、機捜の加藤裕子の周りで何かが動き始めている。ついに石本は悪戯と思えたある事件から「子守唄」の真の目的が、来日する国賓の狙撃にあることに気づいた。	
サイレント・ナイト	高野裕美子	ジャンボ機は炎上し、想いは遂げられたのだろうか。夜の闇よりも濃く深い、この慟哭を聞け。	☆☆☆☆ 女の人じゃないと思っただけ、男っぽいストーリーで吃驚。

鬼九郎鬼草子	高橋克彦	幡随院長兵衛が何者かに襲われた。事件の背後には、幕府と会津藩を結ぶ奇妙な陰謀が隠されていた…天海僧正、天竺徳兵衛、柳生十兵衛、由比正雪など、おなじみの人物が活躍する、	☆☆ この人は基本的に面白いはずなんだけど、まあ、中にはあるよね。
繋がれた明日	真保裕一	この男は人殺しです。仮釈放となった中道隆太を待ち受けていた悪意に満ちた中傷ビラ。いったい誰が何の目的で？孤独な犯人探しを始めた隆太の前に立ちはだかる“障壁”とは？	☆☆ 他の作品が面白って言うか、いつも織田裕二をイメージしちゃうけど、これはちょっと。
未明の悪夢	冨健二	1995年初頭、突然関西を襲った天変地異阿鼻地獄の中で次々と起こる不可解な事件。	☆ すいません。阪神淡路の大震災を題材にされるとそれだけで、あまり読む気がしなくてね。
怪物がめざめる夜	小林信彦	怪物に餌をやるな。今ではそう言いたい。若者のカルト的人気を得る深夜放送のヒーロー〈ミスターJ〉。この“創られた天才”が、突如、自己を主張し反逆を始めた。毒舌で大衆を扇動しつつ、攻撃の矛先を意外な方向にむけた…。今日的な(メディア社会の恐怖)	☆ 昔読みました、これ。そのときは今風で面白かったけど今読むと変に古い。
女を逃すな	都筑道夫	ある夜、島村雄作がうたた寝中、泥棒が入った。なにも盗られた様子はないが、見知らぬ女性用ライターとヘア・ピンが落ちていた。それを発見したのが帰宅した妻の美枝子だったため夫婦の間には陰悪な空気が…。その翌日、怪しげな二人組の男が押し入り、妻は人質に取られてしまう(『女を逃すな』)。	☆☆ ミステリイマガジンだったかの編集長だった氏の作品は、比較的好きなのだが。
スフィア 上	マイクル・クライトン	航空機墜落調査班のメンバーである心理学者ノーマンは、召集を受け、南太平洋へ飛んだ。海底に沈んでから少なくとも三百年は経過している宇宙船が発見されたというのだ。ノーマンをはじめとする科学者チームは、海底居住施設を拠点にして、船内の調査をする。	☆☆☆☆ とっても映画的です。先に絵が浮かんじゃいます。確かこれは映画にもなっていると思ったが。
スフィア 下	マイクル・クライトン	居住施設に戻った科学者チームの周囲では、奇妙な出来事が続発する。突如モニターテレビに謎の数字が並び、海底ではエビや発光するイカやクラゲが異常発生し、狂暴なオオイカの触手が彼らを襲う。すべては謎の球体に関係があると考えたノーマンは、再び宇宙船へ乗り込み、球体とのコンタクトを試みるが…。	
藤沢周平全集第15巻	藤沢周平	闇の傀儡師。春秋山伏記。	☆☆☆☆ 最近すっかりファンです。昔、これって、山本周五郎の垂流ジャンなんて思っでごめんなさい。
はやぶさ新八御用旅	平岩弓枝	姿の見えない姫君護衛の密命を帯びて、東海道を上る新八郎。箱根では侍が現れ、斬り合いが。宇津ノ谷峠では虚無僧が走り去った崖の下に人が倒れていた。新八郎は、お役を全うできるのか。	☆☆☆☆ 東映の古きよき時代の時代劇のようです。大川橋蔵って言ったら、せがれから「誰っ!？」って言われちゃった。
酸漿は殺しの口笛 御宿かわせみ	平岩弓枝	江戸の風物、人情を豊かに謳いあげる異色の捕物帳。“かわせみ”のりい、剣の達人・東吾、同心・源三郎らが展開する軽快な連作シリーズ	☆☆☆☆ 当然のことながら、堺俊二のことは「なんだそれ!」って返事でした。堺正章の親父だよ!。

幻の少女	安東能明	社長が心中事件を起こした日、突然記憶喪失になった営業部部長。彼は次期社長の一番手と目されていた。限界状況に置かれた人間を新進気鋭の作家が鋭く抉る。記憶が溶けていく恐怖。	☆ 語り口が嫌い、設定が嫌い。途中で分投げちゃいました。図書館の本でよかったです。
不知火海	内田康夫	蒼き炎に誘われ、浅見は廃坑の町をさまよう。「不知火を見た」その言葉を残して、男と女が失踪した。男が隣人に託した桐箱には髑髏。その歯が噛みしめる黒い鉱石。八代の海に、浅見光彦の推理が冴える。	☆☆☆☆ 簡単に読めるところがいいね。でも、これトリックって言うトリックが何も無いね。
少女伝	大野靖子	戦前の少女の勇気とお転婆ぶりを生々と描く。愛と哀しみを乗り越える自伝的長編。	☆ 何だろう、古いなあ。読む期が途中でうせた。読ませるテクニックが無い。純文学ってこんなもの？
江戸群炎記	大久保智弘	慶安の江戸の闇に蠢く謎の風魔一族、由比正雪一派、柳生一門。無明三段斬りの名手早野小太郎の剣が冴える。	☆☆☆☆ 神州天馬峡見たい名乗りで、話は進みます。こんなのもいいんじゃない
江戸川柳を楽しむ	神田忙人	江戸川柳いろは;家族;四季;吉原;親しまれた句;誤解・こじつけ;「なぞ」を含む句が収められている。	☆ あまり蘊蓄の感じられるものが無かった。センスがいいなあってのもね
あたしが海に還るまで	内田春菊	自儘な性暴力を続ける義父と、見て見ぬふりをする実母に訣別し、16歳で家を出た静子の凄絶な青春時代。東京への出奔、セックス、中絶、旅館の住み込みからスナックのホステスとなり、マンガ家や歌手への夢を抱いて再び上京、レーサー崩れの男との結婚・破局まで、激流のような、辛苦と希望が交錯する日々。	☆☆☆ 内田春菊は悲劇を喜劇にしているところが、一茶のようで好きです。本当は悲惨なんですけどねって、片頬を歪めて笑っているようです。

国土交通省鉄道局局長の「鉄道の利便性」を説く国会答弁の絵を頼まれました。鉄道建設・運輸機構さんからの依頼だったので、報酬は無しです。国交省のホームページに極小さく載っていました。

名前くらい載せてくれてもいいのに！

